

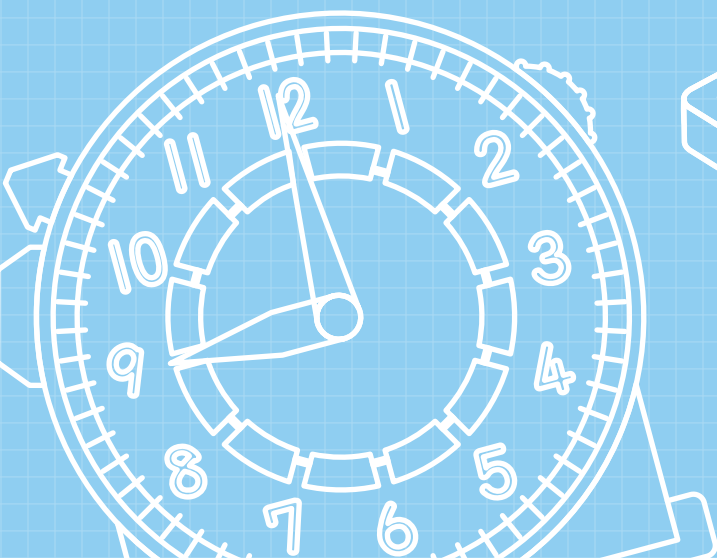
3-0446 標

たのしい

さんすうらんど

活用マニュアル

各教材の対応表つき



学習指導に役立つ情報満載！

ぶんけい まなびじゅある

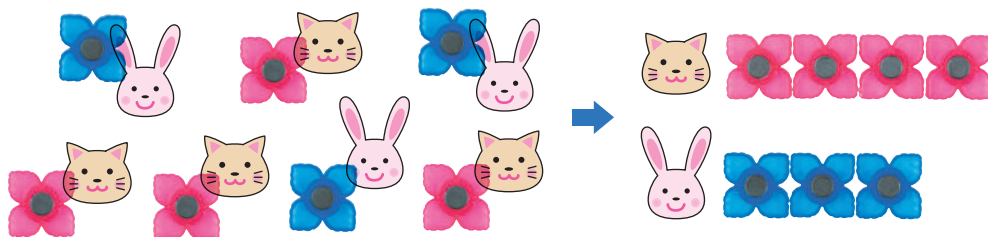
検索



ぶんけい

●導入

おはじきと教科書などのイラストを1対1に対応させます。 おはじきを並べて数を比べます。



Point

2色のおはじきを使うと、数が比べやすくなります。

① 10までの かず

(1) 10までの数をおはじきに置きかえて数を数えます。



(2) 音の数だけおはじきを並べます。



② なんばんめ

(1) 「左から8マス目に赤いおはじきを置きましょう。」



(2) 「赤いおはじきは右から何マス目でしょうか。」



Point

左右だけでなく、上下に関わる順序や位置も考えましょう。



③ いくつと いくつ

「5」「6」「7」「8」「9」「10」がそれぞれいくつといくつになるかを考えます。

(1) 手を使って

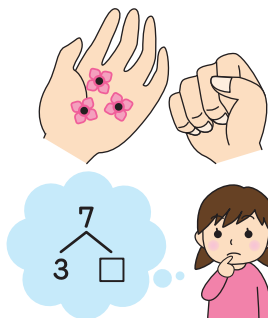
「あといくつで7になるでしょう。」

(2) おはじきケース(※)を使って

「5は3と□」

「5は□と2」

▼詳しくはコチラ



Point

フタを動かして隠す部屋を変えることができます。



先生のお悩み
ホットライン



おはじきを片付ける
とき、磁石が反発して
しまい收拾がつか
ません...

ふんけいのおはじき
は、どちらの面でも
くっつきやす片付
けに便利で、先生方
にも大変好評です。



▼詳しくはコチラ



ブロック (I)

単
元

●導入

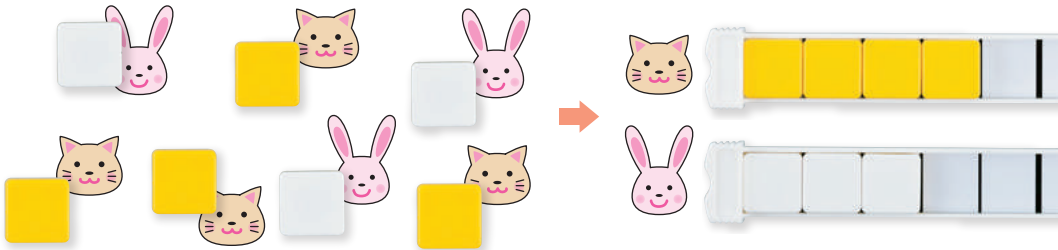
①10までの かず

②なんばんめ

③いくつと いくつ

●導入

ブロックと教科書などのイラストを1対1に対応させます。 ブロックを並べて数を比べます。



Point

ブロックの表裏を使うと、数が比べやすくなります。

① 10までの かず

用意するもの ●数図カード(※) ●数字カード(※)

(1) 具体物、ブロック、数図カード、数字カードをそれぞれ対応させます。

(2) 教科書を参考に数字の読み書きをします。



② なんばんめ

(1) 「左から3個目を裏返ししましょう。」

(2) 「白いブロックは右から何個目でしょうか。」



(3) 「左から3個を裏返ししましょう。」

(4) 「白いブロックは右から何個あるでしょうか。」



Point

左右だけでなく、上下に関わる順序や位置も考えましょう。

③ いくつと いくつ

皿の上にブロックを10個置きます。
スリーブに隠れているブロック
(見えていないブロック)の数を考えます。



▼詳しくはコチラ



「10は3と7」



スリーブを開くと、隠れているブロックを確かめられます。

※児童の理解度に応じて活用してください。

ブロック (2)

単
元

④ たしざん(1)

⑤ ひきざん(1)

④ たしざん(1)

ブロックを使って、①②のたしざんを考えます。

① あわせていくつ

「3と2を合わせると、5になります。」



合わせると



$$3 + 2 = 5$$

② ふえるといくつ

「4あります。2増えると、6になります。」



増えると



$$4 + 2 = 6$$

⑤ ひきざん(1)

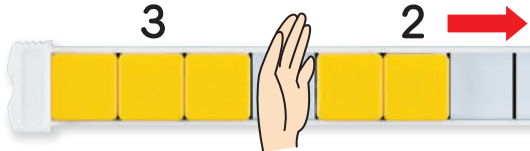
ブロックを使って、①②のひきざんを考えます。

① のこりはいくつ

「5から2をとると、3になります。」



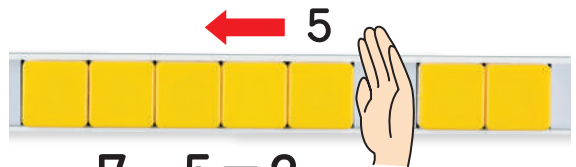
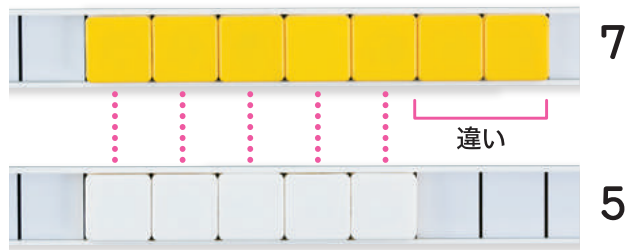
とると



$$5 - 2 = 3$$

② ちがいはいくつ

「7と5の数の違いは2になります。」



$$7 - 5 = 2$$

Point

ブロックを操作する際、専用の皿を使うとスムーズに学習することができます。

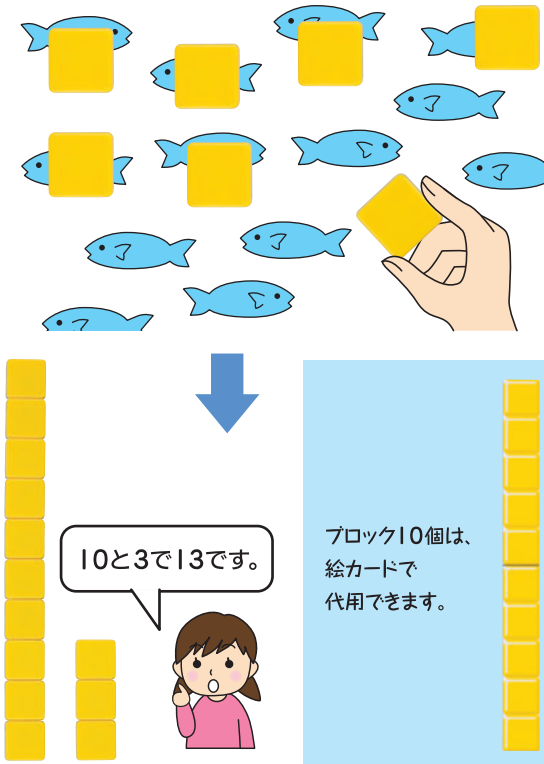
ブロック (3)

単元

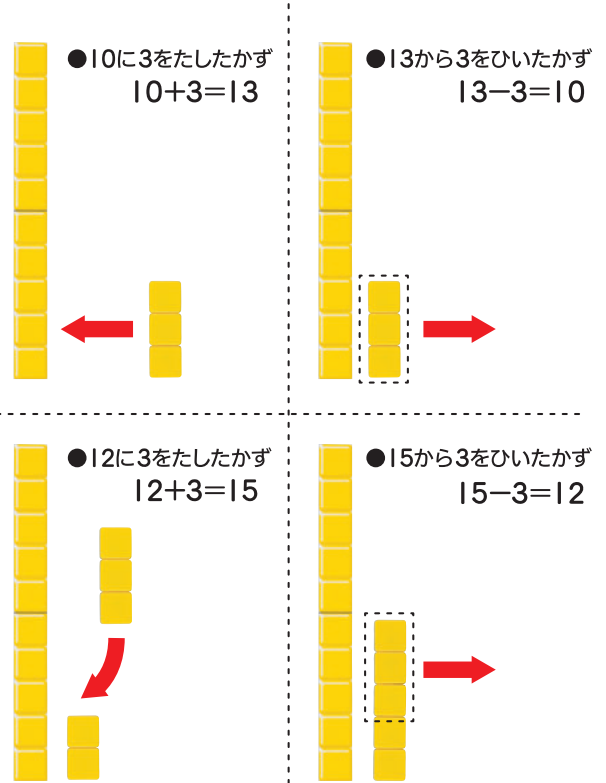
⑥ 10より おおきい かず
⑨ 3つの かずの けいさん

⑥ 10より おおきい かず

① 教科書などのイラストを使って、20までの数を数えます。



② 20までの数のたしざんとひきざんを考えます。

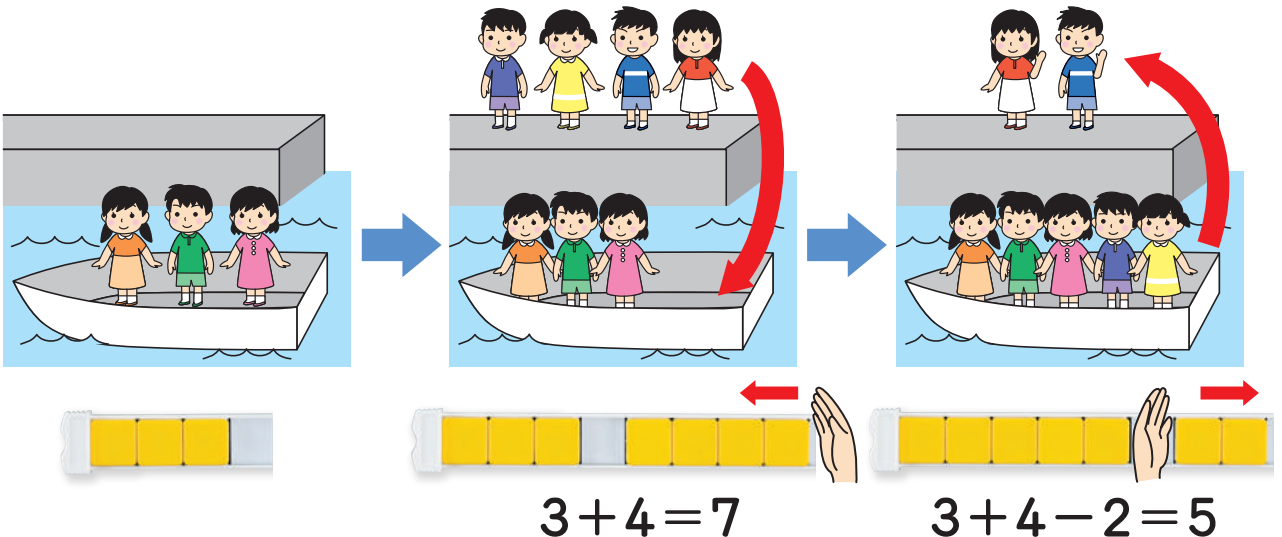


⑨ 3つの かずの けいさん

ブロックを動かしながら、式を考えます。

Point

初めのうちは具体的なイメージに合わせてブロックを動かしましょう。



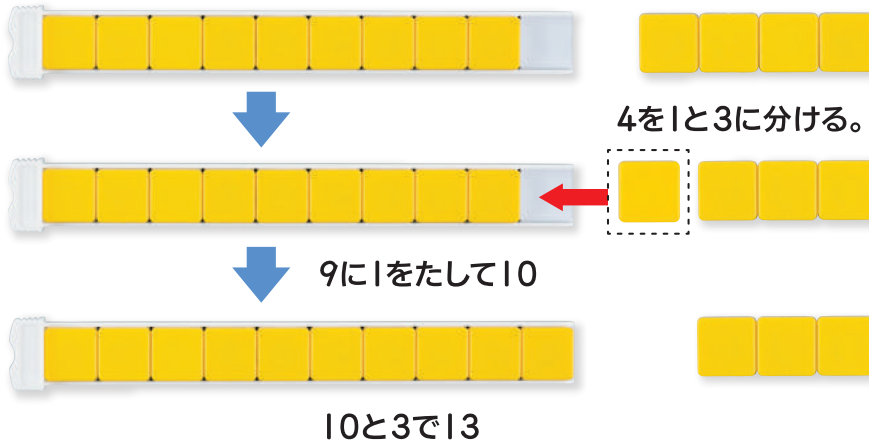
ブロック (4)

単元

①たしざん(2)
③ひきざん(2)

① たしざん(2)

「9+4」の計算のしかたを考えます。



Point

10のまとまりをつくるよう工夫します。

(1)「9+4」の計算(4の分解)
※左参照

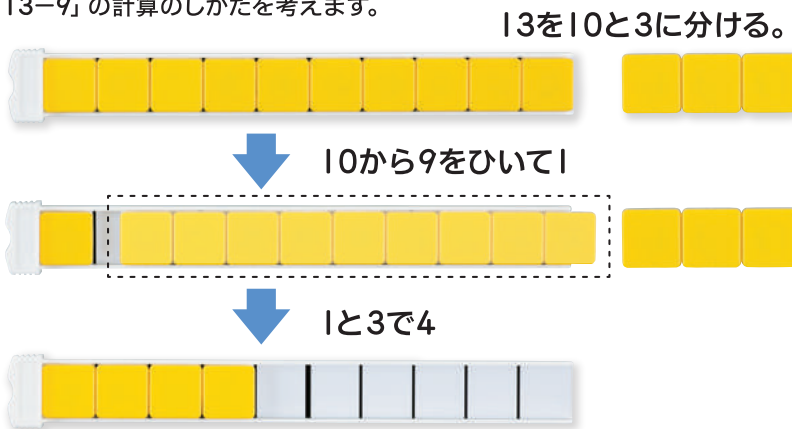
$$\begin{array}{r} 9 + 4 \\ 10 \quad 1 \quad 3 \end{array}$$

(2)「3+9」の計算(3の分解)

$$\begin{array}{r} 3 + 9 \\ 2 \quad 1 \quad 10 \end{array}$$

③ ひきざん(2)

「13-9」の計算のしかたを考えます。



Point

10のまとまりをつくるよう工夫します。

(1)「13-9」の計算(13の分解)
※左参照

$$\begin{array}{r} 13 - 9 \\ 10 \quad 3 \end{array}$$

(2)「14-6」の計算(6の分解)

$$\begin{array}{r} 14 - 6 \\ 4 \quad 2 \end{array}$$

準備 スリーブを逆さにし、皿2枚を両側から差し込みます。

▼詳しくはコチラ



「9+4」の計算の例

① 10のまとまりをつくるため、4を1と3に分ける。



② 1のブロックを左にスライドさせる。



③ 10と3で13

先生のお悩み
ホットライン



ブロック皿を使った
効率の良い指導法は
ありませんか？

ふんけいの皿は連
結できます。ブロック
をスムーズに動か
せるので体感的に
理解が深まる指導
が期待できます！



ふんけいサポーター

ブロック (5)

単
元

⑮ おおきい かず

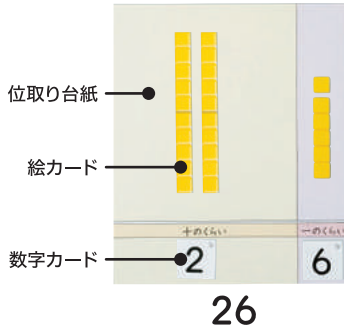
⑰ ずをつかって かんがえよう

⑮ おおきい かず

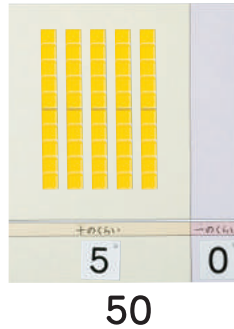
用意するもの ●位取り台紙(※) ●数字カード(※)

(1) ブロックを並べ、数の表し方や構成を理解します。

「10のまとまりが2こと、ばらが6こ」

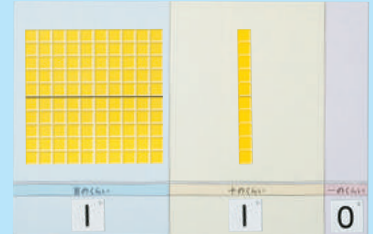


「10のまとまりが5こ」



Point

100を超える数は100の絵カードを使いましょう。

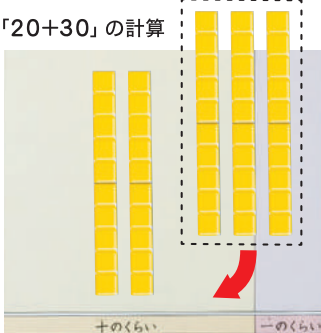


Point

一の位にブロックがなくても「0」が必要になることをおさえましょう。

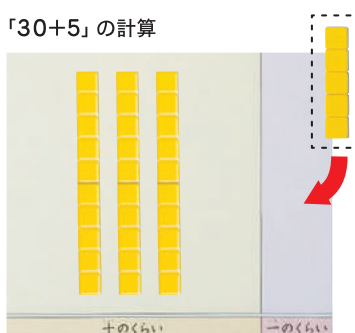
(2) 計算のしかたを考えます。

「20+30」の計算



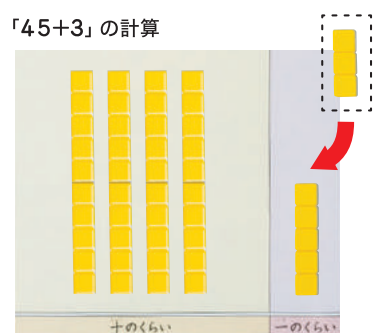
「10のまとまりが2こと3ことで5こ」

「30+5」の計算



「10のまとまりが3こと、ばらが5こ」

「45+3」の計算



「10のまとまりが4こと、ばらは5こと3ことで8こ」

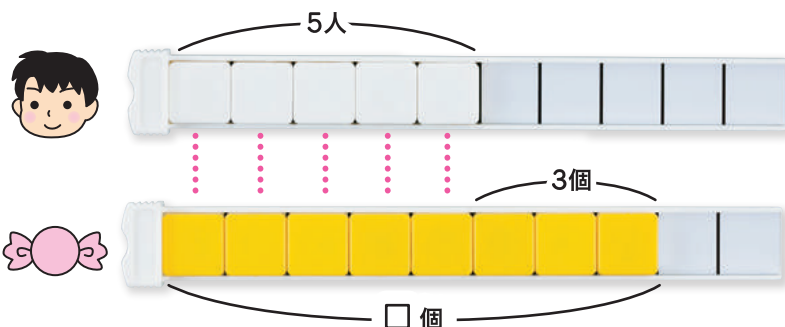
⑰ ずをつかって かんがえよう

「ゆりなさんは前から6番目にいます。ゆりなさんの後ろには4人います。全部で何人いますか。」



$$6 + 4 = 10$$

「あめを5人に1個ずつあげました。あめはまだ3個残っています。あめは全部で何個あったでしょう。」



$$5 + 3 = 8$$

Point

単位を合わせて計算する必要があります。ブロックの表裏を使うと異なる単位の区別ができます。

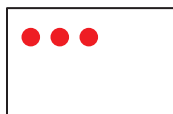
数字・数図カード (I)

単元

- ①10までのかず ④たしざん(I)
③いくつといくつ ⑤ひきざん(I)

① 10までの かず

(1) 具体物、ブロック、数図カード、数字カードをそれぞれ対応させます。



(3) 数の大小を比べます。



Point

数字カード同士だけでなく、数図カードを混ぜて比べてみましょう。

Point

カードを裏返しにし、隠れている数を考えましょう。

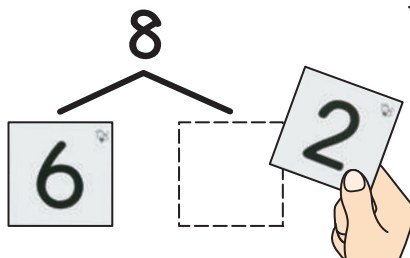
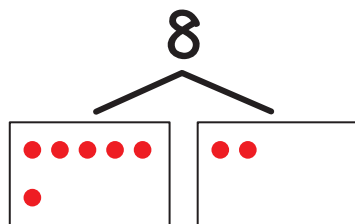
Point



の位置でカードの上下を判別できます。特に「6」と「9」は注意しましょう。

③ いくつと いくつ

数図カードや数字カードを使って数をつくります。



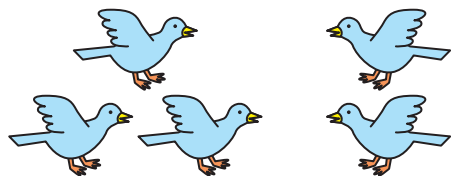
あといくつで10になるかな？

4



④ たしざん(I)

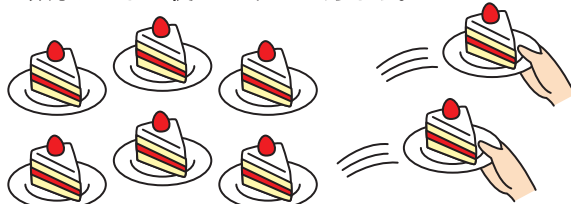
数字カードを使って式をつくります。



「 3 たす 2 は 5 」

⑤ ひきざん(I)

数字カードを使って式をつくります。



「 8 ひく 2 は 6 」

Point

式を読ませるようにしましょう。

数字・数図カード(2)

単元

⑥10より おおきい かず ⑤おおきい かず
⑭どちらが ひろい ●ビルをつくろう

⑥ 10より おおきい かず

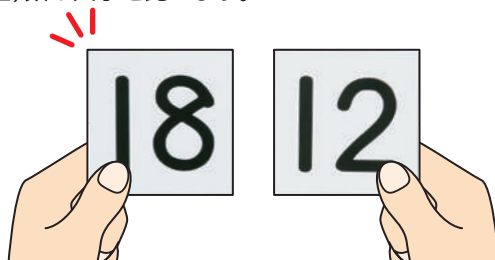
(1) 数字カードを順に並べます。



Point

カードを裏返しにし、隠れている数を考えましょう。

(2) 数の大きさを比べます。



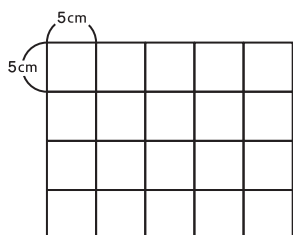
(3) 10をもとにした合成・分解をします。



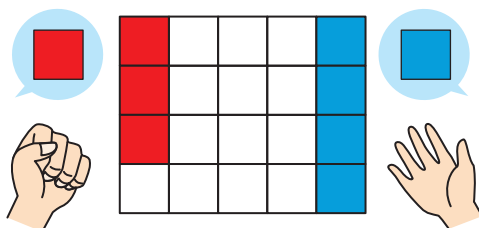
⑭ どちらが ひろい

数字カードの裏面の色板(赤/青)を使います。

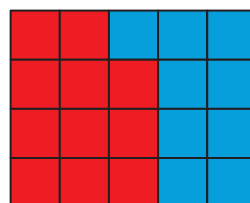
マス目を用意します。



じゃんけんで勝った方が、色板を1枚並べます。



どちらが広い比べます。広い方の勝ちです。



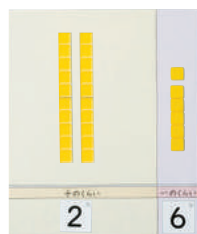
⑮ おおきい かず

用意するもの ●ブロック(絵カード) ●位取り台紙(※)

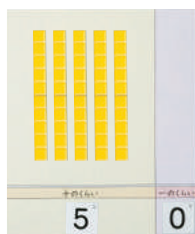
(1) 数字カードを並べて、数の表し方や構成を理解します。

「10のまとまりが2こ、ばらが6こ。」

「10のまとまりが5こ。」



26



50

Point

一の位にブロックがなくても「0」が必要になることをおさえましょう。

(2) 10～100の数字カードを使って、計算の練習をします。



●ビルをつくろう

数字カードの裏面の色板(赤/青)を使います。

指定の枚数の色板を使って、□を1つの部屋にした、四角のビルをつくります。

12枚の例



(1階に6部屋あって2階建てのビル)
しき $6+6=12$



(1階に3部屋あって4階建てのビル)
しき $3+3+3+3=12$

Point

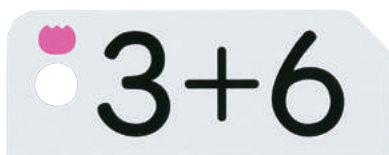
他にどのような形があり、またどのような式になるかを考えましょう。

計算カード

単元

④たしざん(1) ⑪たしざん(2)
⑤ひきざん(1) ⑫ひきざん(2)

★4種類の計算カード たしざん(1) ひきざん(1) たしざん(2) ひきざん(2) を使って、各単元ごとに様々な方法で繰り返し練習しましょう。



< 表 >

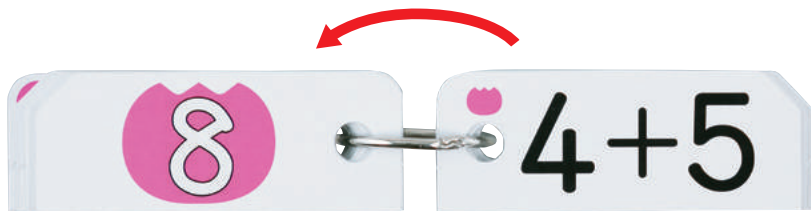


< 裏 >

Point

の向きでカードの上下を判別できます。特に「6」と「9」は注意しましょう。

(1)カードをめくって練習します。



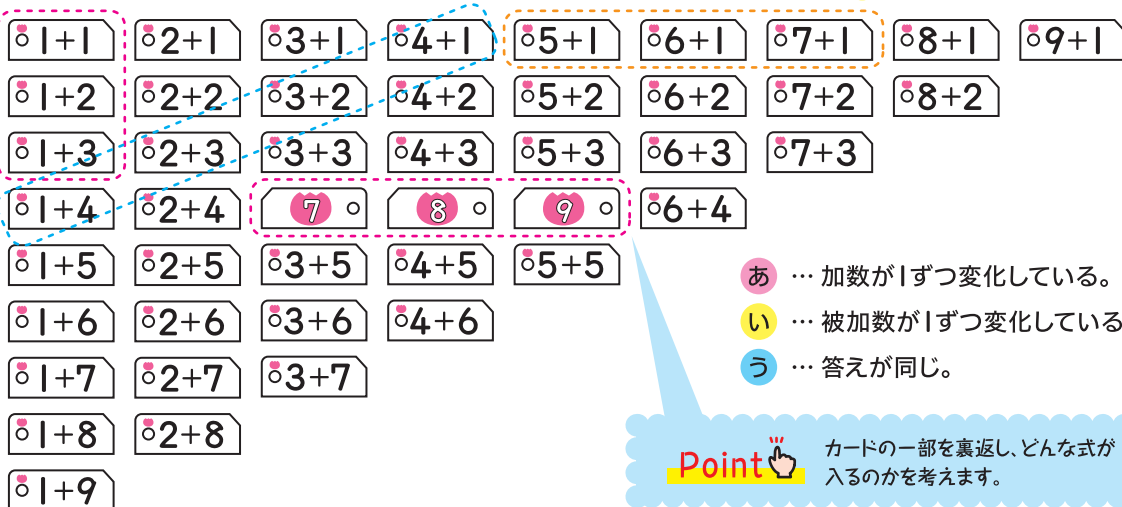
Point

慣れてきたら、リングを外して順番を並び替えて練習しましょう。

(2)カードを並べて気付いたことを言います。

い

あ



あ … 加数が1ずつ変化している。

い … 被加数が1ずつ変化している。

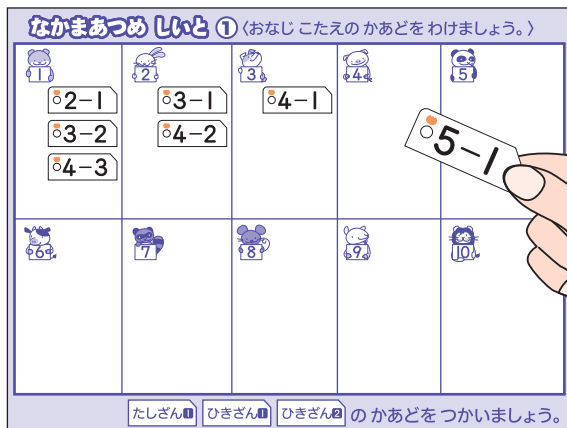
う … 答えが同じ。

Point

カードの一部を裏返し、どんな式が入るかを考えます。

(3)同じ答えのカードを集めます。

用意するもの ●仲間集めシート(※)



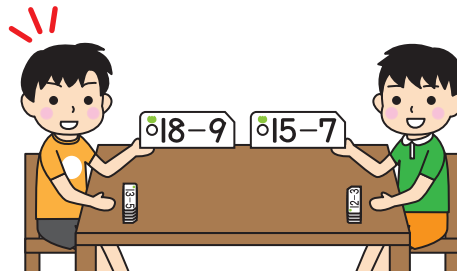
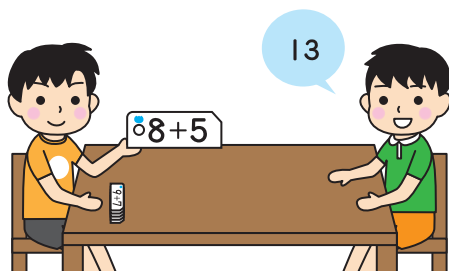
Point

答えが同じカードを集めたり、並べたりして気付いたことを発表するようにしましょう。

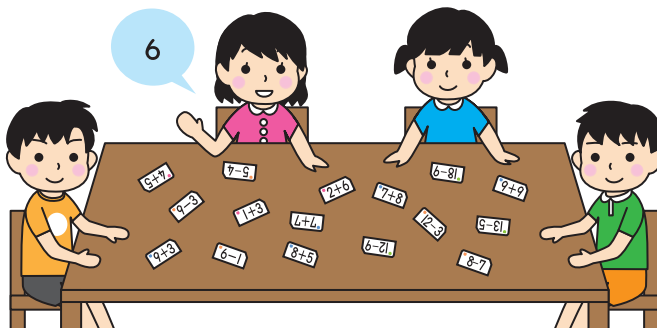
● たしざん(1) ひきざん(1) ひきざん(2) は「なかまあつめ しいと①」を使い、
たしざん(2) は「なかまあつめ しいと②」を使います。

(4) 2人1組で、1人がカードを出し、もう1人が答えを言います。

(5) 2人1組で同時にカードを出し、答えを比べます。



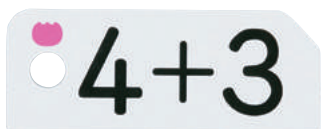
(6) 1人が数を言い、それが答えになるカードを取ります。



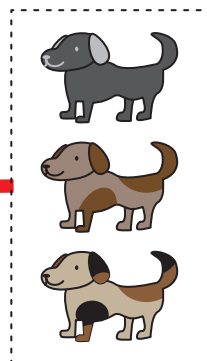
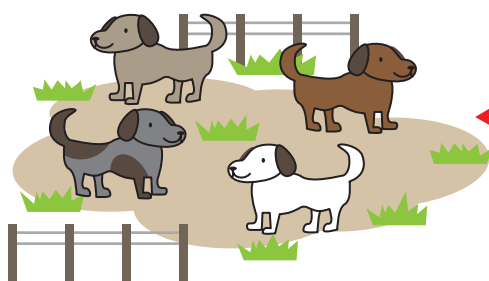
Point

慣れてきたら、同じ種類のカードだけでなく、異なる種類のカードも混ぜて(4)～(7)を学習してみましょう。

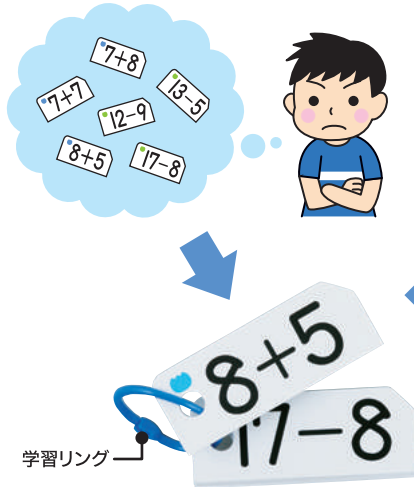
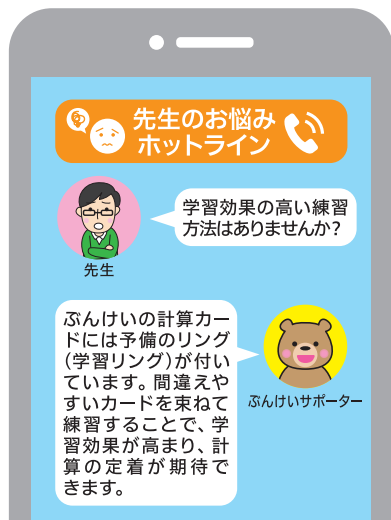
(7) カードを使ってお話しづくりをします。



「空心地に犬が4匹います。
3匹やってきました。
全部で7匹になりました。」



▼詳しくはコチラ



Point

計算力のアップを目指し、くり返し練習しましょう。

⑦ なんじ なんじはん

(1) 時計を読みます。



9時

- 短い針(黒)は9をさしている。
- 長い針(赤)は12をさしている。



9時半

- 短い針(黒)は9と10の間をさしている。
- 長い針(赤)は6をさしている。

(2) 時計の針を合わせます。



Point

1日の生活に関連づけながら、
時計を読みましょう。



起床



朝食



昼食



おやつ



⋮



2じはん?
3じはん?



▼詳しくはコチラ



レバーを上げると、
「時」が表示されます。
※児童の理解度に応じて活用してください。



2じはん!



先生のお悩み
ホットライン



先生

「何時」を読むとき、
間違って隣接する
数字を読んでしまう
児童がいます...

ふんけいの時計は
左上の黄色のレバー
を上げると、「時」
が表示されます。短
針がさす数字を見
れば、正確な「時」
を読み取れます。



ふんけいサポーター

⑯ なんじなんぷん

(1) 時計を読みます。



● 長針を1分ずつ進めて読みましょう。



● 長針を5分ずつ進めて読みましょう。



● 長針を不規則に進めて読みましょう。

(2) 時計の針を合わせます。



3時28分

先生のお悩み
ホットライン

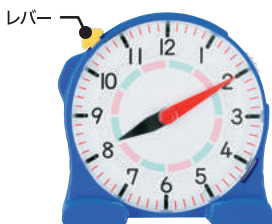


「何分」を読むとき、間違っ
て「時」を表す数字を読ん
でしまう児童がいます…

ふんけいの時計は左上の黄色の
レバーを上げると、「分」が表
示されます。長針がさす数字を見れば、
正確な「分」を読み取ることが
できます。



ふんけいサポーター



8じ2ふん?



Point

長針の色と分の表示色は、
どちらも赤であることを
示すと、分かりやすいです。



レバーを上げると、「分」が表示されます。
※児童の理解度に応じて活用してください。



8じ10ふん!



▼詳しくはコチラ



番外 2年生～の学習

先生のお悩み
ホットライン



時間の経過を考える
学習で、経過前の時刻
が分からなくなっ
てしまう児童がいます…

ふんけいの時計には
専用の学習針(別体)
が付いています。こ
れをレンズにつけ
ば、目で経過前と
経過後の時刻を確
認できます!



ふんけいサポーター

学習針



吸盤

時計のレンズに
つけて使います。

▼詳しくはコチラ



学習針ははじめの時刻に
合わせて装着する。



学習針を装着した状態

時計本体の針を進める。



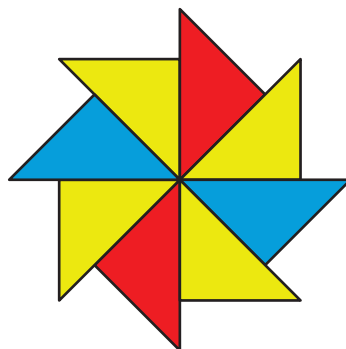
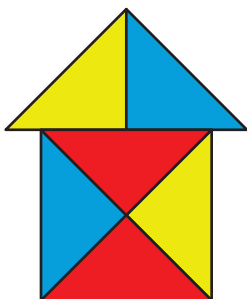
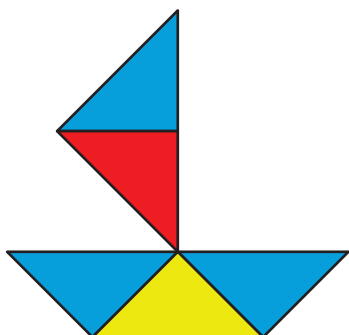
読み取る。



15分

⑱ かたちづくり

(1)教科書などを見て、いろいろな形を作ります。



(2)1枚だけ動かして、形を変えましょう。



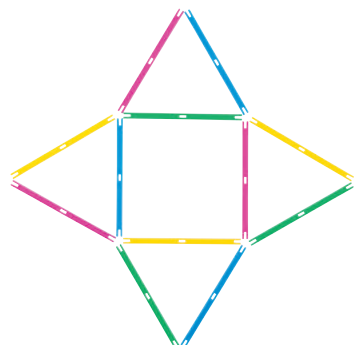
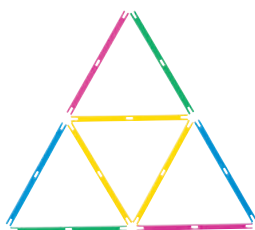
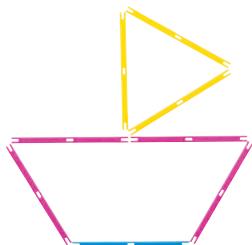
Point

学習板を使うと固定できます。
どんな形ができたか、
みんなで見せ合ひましょう。

数え棒

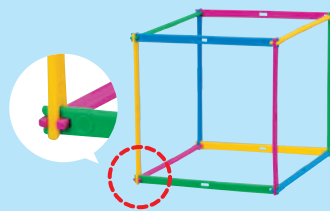
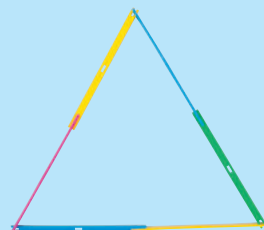
⑱ かたちづくり

いろいろな形を作ります。



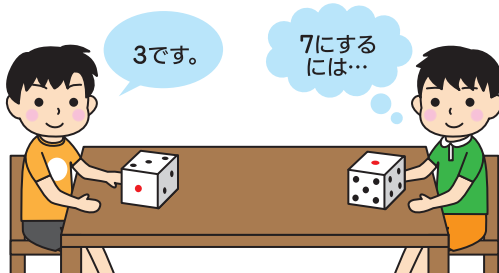
Point

数え棒の端を組むと、平面作りや
立体作りができます。

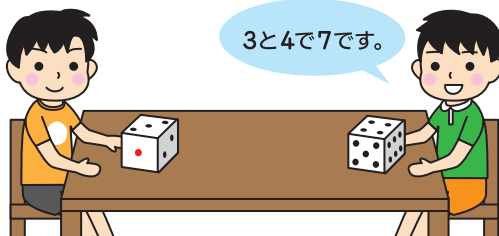


③ いくつと いくつ

さいころを使い、2人1組で「7」にします。



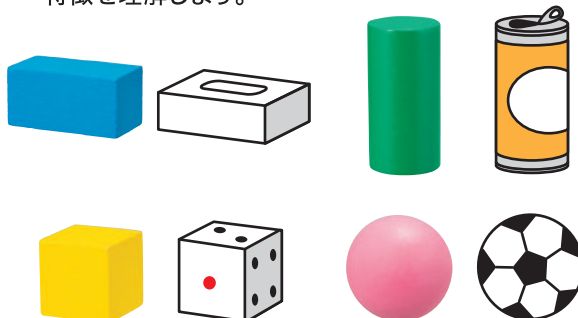
1人がさいころを振り、出た目をもとに、あといくつで「7」になるかを考えます。



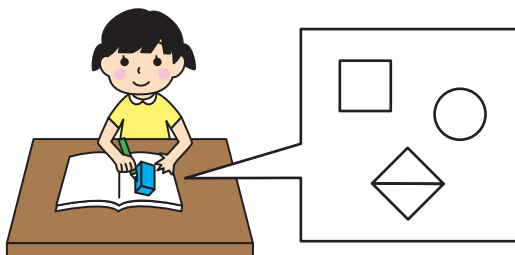
もう1人は「7」になる目を答えましょう。

⑫ かたちあそび

(1)身の回りの似ている形を対応させ、それぞれの特徴を理解します。

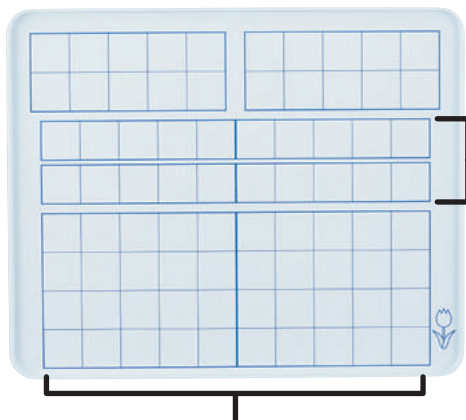


(2)形をうつしましょう。



学習板

学習板のマス目を使えば、様々な学習ができます。



10までの数を確認できます。



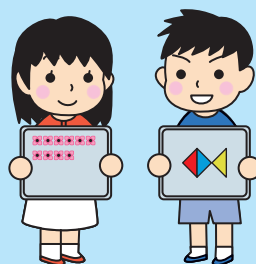
数の比較ができます。



身の回りの物を置いて、長さを調べられます。

Point

ブロック、おはじき、色板をくっつけられます。
並べた様子を提示したり、
周りの子ども同士で
見せ合ったりしましょう。



各教材の対応表(標)

●:主要教材(マニュアル掲載) ◎:主要教材 ○:代替・補助教材

		おはじき	ブロック	数字・数図カード	計算カード	時計	色板	数え棒	さいころ	積木	学習板	dLケース	ファイルセット
No.	ページ	1	2~6	7・8	9・10	11・12	13	13	14	14	14	—	—
●	導入	●	●					○			○		
①	10までの かず	●	●	●				○			○		
②	なんばんめ	●	●								○		
③	いくつと いくつ	●	●	●				○	●		○		
④	たしさん(1)	○	●	●	●			○			○		○
⑤	ひきさん(1)	○	●	●	●			○			○		○
⑥	10より おおきい かず	○	●	●				◎			○		◎
⑦	なんじ なんじはん					●							
⑧	どちらが ながい										○		○
⑨	3つの かずの けいさん	○	●	○				○			○		
⑩	どちらが おおい											○	
⑪	たしさん(2)	○	●	○	●			○			○		○
⑫	かたちあそび								◎	●			
⑬	ひきさん(2)	○	●	○	●			○			○		○
⑭	どちらが ひろい			●									
⑮	おおきい かず		●	●				◎					●
⑯	なんじなんぶん					●							
⑰	ずをつかって かんがえよう	◎	●					○			○		
⑱	かたちづくり						●	●			○		

※セットの種類によっては、入っていない教材もございます。ご了承ください。

※印刷の都合により、実物と多少色が異なることがあります。

※諸事情により、掲載の教材はやむをえず材質・規格・色等の変更をする場合があります。